賛助会員募集について

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所では、当ＮＰＯ法人の目的および事業に賛同して事業を賛助する個人及び団体会員を募集しています。
是非、当NPO法人の趣旨にご賛同いただき、会員としてご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

賛助会員	入会金 10,000円	年度会費 個人・団体　一口5,000円　※一口以上からのお申込み

入会ご希望の方は、当研究所まで電話またはFAX、E-mailにてお知らせください。申込書をお送りいたします。
電話番号：03-5805-6786　　FAX番号：03-5805-6787　　E-mail：info@montessori.or.jp

東京モンテッソーリ教育研究所
令和元年度収支決算

収入の部　　単位：円

入会金		
	個人	40,000
	団体	0
会費収入		
	個人	220,000
	団体	10,000
事業収入		
	教員養成事業	19,687,710
	指導者支援事業	125,700
	広報事業	0
受取寄付金		
	受取寄付金	100,000
雑収入		
	受取利息	873
	雑収入	1,604
経常収入合計		20,185,887

支出の部

事業費		
	教員養成事業	10,402,808
	指導者支援事業	120,691
	広報事業	207,419
管理費		
	役員報酬	270,000
	人件費	251,246
	外注委託費	1,560,000
	会議費	52,944
	旅費交通費	15,422
	通信運搬費	165,650
	消耗什器備品費	203,112
	消耗品費	105,744
	修繕費	0
	印刷製本費	0
	光熱水費	28,816
	賃借料	346,836
	租税公課	433,900
	雑費	316,280
経常支出合計		14,480,868

当期収支差額	5,705,019
前期繰越収支差額	38,226,623
次期繰越収支差額	43,931,642

令和２年４月21日　上記の通り相違ありません。　事務局長：青木和美

編集後記

T.I.M.E. 第13号をお届け致します。去年の暮、中国の武漢で新しい風邪が発生したみたい、という小さい記事を目にしたら、今年２月、大型豪華クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に入港してこの新型コロナウイルス感染症が広がり、わが国も長期検疫体制に入りました。世界のある国々は再度の大感染事態になっています。地球上で生きる私たちの生活、日常の暮らし、そして教育においても大きな影響を受けています。モンテッソーリは、彼女の「コスミック理論」（1946年インド）でこの危機を既に暗示し、解決へ私たちのなすべき課題を教示します。ピンチをチャンスへ変えて、一歩一歩を前へ進みましょう。　　江島正子

令和元年度研究所活動報告

1. 会員の動向（令和2年3月31日現在）
　①新規入会　　正会員　個人　2名　賛助会員　なし
　②退会会員　　正会員　個人　0名　賛助会員　なし
　③会員数　　正会員　個人22名
　　賛助会員　1団体（2口）

2. 活動報告
　①教員養成事業　平成31年4月　第14期生　31名入講
　　令和2年3月　第13期生　26名修了
　②指導者支援事業　令和元年8月
　　第11回実践実技研修会開催、
　　於　富坂きっぱ保育園ホール
　　「言語教育」
　③ホームページ等による広報事業
　　「モンテッソーリ教育」（学会誌）第51号に広告掲載、令和元年11月に「T.I.M.E.」第12号を発行。ウェブサイトを通し、広く一般に東京モンテッソーリ教育研究所及び、付属教員養成コースの活動を発信し、モンテッソーリ教育の普及活動を行った。
　　http://montessori.or.jp/

以上
事務局長　青木和美

令和３年度入講生募集のお知らせ

募集定員：土曜コース　25名
出願期間：令和２年12月１日（火）～
　　令和３年１月13日（水）
出願書類：願書・受験票（所定用紙・写真添付）
　　最終学校の卒業証明書又は、卒業見込証明書
　　選考料の振込み金受領書のコピー
選考日程：令和３年１月17日（日）午後１時集合
場　　所：富坂キリスト教センター
内　　容：小論文（レポート）・面接

※詳細・入講案内は事務局までお問い合わせください。
Tel. 03-5805-6786　Fax. 03-5805-6787
Email: info@montessori.or.jp

第13号
No.13
令和２年11月１日発行
November 1, 2020

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所
T. I. M. E.
Tokyo Institute of Montessori Education
http://montessori.or.jp/
Chair Person Tamako Amano　General Secretary Kazumi Aoki
理事長　天野珠子　　事務局長　青木和美
Editors　Ph.D. Masako Ejima　Kazuko Hotta
編集委員　江島正子　　堀田和子

〒112-0002
東京都文京区小石川2-17-41
富坂キリスト教センター２号館内
Tomisaka Christian Center 2
2-17-41 Koishikawa
Bunkyou-ku, Tokyo, Japan
Tel. 03-5805-6786
Fax. 03-5805-6787
✉ info@montessori.or.jp

巻頭言

コロナ禍とモンテッソーリの宇宙的ヴィジョン

東京モンテッソーリ教育研究所　付属教員養成コース　コース長
前之園　幸一郎

このたびのコロナ禍は日ごろ見慣れているなごやかな日常的景色を私たちから奪い去り、同時に通常はほとんど意識されることのない現代社会が抱えている根本的な矛盾と問題点をあらわにしました。その一つが世界の国際的な連帯の必要の問題です。一国だけのいかなる「封じ込め」の努力によってもコロナの感染防止は実現不可能であることが明白になっているからです。今日のこの現状はモンテッソーリの目から見たらどのように見えるでしょうか。これはまさに『平和と教育』でモンテッソーリが論じた「外的世界の目覚ましい発展と人間の内面的・精神的発達との不均衡」にかかわる問題だと思われます。

モンテッソーリの宇宙的ヴィジョン（visione cosmica）によれば、天体、動植物、人間社会を含む自然界は一つの秩序によって 緊密に結びつき調和的に律されています。蜜を集めるミツバチが受粉によって花にお返しをするように、また食物連鎖の存在が示すように自然界は相互依存の関係によって成り立っています。人間の社会においても本来的には各人の労働の成果がどこかで誰かの生活に役立ち、私たちも他者の労働の恩恵によって衣食住を享受する相互依存の関係にあります。しかし人類の活動の発展が今日では地球規模の社会システムをつくりだし、一国の国内だけでは完結しないヒトやモノやウイルス感染の流れが急速に拡大するグローバル化が生まれました。それにもかかわらず各国は基本的には自国第一主義に頑強に固執し続けています。しかしグローバル化はその逆に従来の国家の枠組みにとどまることができないほど世界各国は密接に繋がっていることを物語っています。モンテッソーリに従うならば、私たちは地球という同じ船に乗り合わせており、共通の羅針盤を必要としています。彼女は、今日の切実な課題であるコロナの問題も大災害や異常気象を生み出す地球温暖化の環境問題や貧困、平和の問題なども、どれをとっても国家を超えた国際的な連帯によってしか対処できないと強調するだろうと思われます。

030949_TIMEvol13.indd 1-2　　2020/10/19 13:02

『東京コースの今』

東京モンテッソーリ教育研究所理事長　天野珠子

同窓生、在校生の皆さん、そして当研究所に多方面からご支援下さっている皆さま、大変ご無沙汰しております。思い起こせば日程が滞りなく進展できなくなったのは、前年度の修了式近くだったでしょうか。前代未聞の長期休みが続き、特に入学された皆さん方とその勤務先園には大変なご心配やご迷惑をお掛けしたことに対し改めてお詫び申し上げます。

我々スタッフも、先の見通しの立たない中で試行錯誤しながら、特に感染予防に可能な限りの配慮をして、何とか講義を開始いたしました。しかし科目内容も「純粋理論」「実践理論」「実技講義」「実践練習」など多岐にわたり、今の所、理論系科目は一部動画配信で授業を行っておりますが受講生の側にも対応が難しい方もありケースバイケースで対応しております。また実践の方はコースで学ばれた方は良くご存知の通り、とにかく教具教材を手に取り提示方法を学び、且つ子ども役に提供しながら覚えていくという体験・実践が重視される特徴があります。

人数や会場の広さ、スタッフの人数など各分野によって差もあり、調整にも時間がかかりました。現在我々で可能と思われる最大の努力を払って講義を再開しております。

ご不満も多々あるとは存じますが、コロナ禍の終息を祈りつつそれまではお互いに可能な中で健康に気を付けお待ち頂きたく偏にお願い申し上げます。なお予め、コロナ感染症関係での欠席につきましては、無断欠席せずご連絡を頂ければ、可能な限り便宜を図らせて頂きます。必ず事務局または担当講師にご相談ください。

保育園、幼稚園、子どもの家などで働く皆さんは、毎日「三密」を避けた保育に勤務時間も増えお疲れのことと思います。幼い子ども達の命を守り、この時期にしかない敏感期の発達を見逃さないよう最大限の配慮を共に心がけましょう。

特別講義

「モンテッソーリ教師としてのまなざし」

2020年9月16日（水）　18：00～20：00

講師：松本　巌 先生（学校法人フランシスコ学園グループ事務局長　聖アントニオ幼稚園　園長（長崎市））

文化担当講師　木村悦子

今年はコロナ禍で、消毒や換気などいつもと違う中での特別講義となりましたが、文京区民センターの本来は200人が定員の会場を借り、50人を超える1，2年生の学生が参加しました。フランシスコ会の神父様でもある松本先生は、以前上智コース、東京コースでも理論を教えて頂いており、今回、長崎から無事にお迎え出来たことにまずは安心致しました。講義は楽しくそれでいて胸に熱く、心に響くお話でした。以前TVで取材を受け、放送された聖アントニオ幼稚園を映像で見せて頂き、園児や保護者の方との触れ合いの中での経験を交えながらお話頂きました。

教師としての情熱を継続させるものは何か？ 継続を支える核となる体験ー原体験はどんなことでしたか？ との問いかけから始まり、松本先生ご自身は、「子どもたちの心のふるさとになりたい」という思いが支えているとのお話でした。入園後の泣き喚く子どもたちに一生懸命に関わっても、成長した子どもたちは、やがて忘れていき、何も残らない、報われないものなのか？ーその時、その場で報われるとは限らないものである。幼いころ、無条件に優しく、包み込まれる経験をしたことは、子どもたちの無意識の中に眠る原体験として残り、その後の思春期以降に活きてくるのである。その子が生涯生きていくうえでの「ハートマーク」（暖かい記憶、無条件に愛された経験）をもらったか、ということがその後の思春期を支えるものになるのである。

そして「発達の4段階」の中で、第1段階の0～6才は、生まれた瞬間に最初の自分壊しから始まり、徐々に自分作りを行っていく時である。その後の母子分離、思春期と繰り返される自分壊しと自分作り。新しい自分を作りあげられたことが、自信となり、自分も社会も肯定（I'm ok. You are ok.）出来るのか。自分も社会もこわい（I'm not ok. You are not ok.）となるのか。それは、自分を壊し、自分を作ることで自分自身と解決できているか、自己との和解が出来ているかによるのである。これからの未来を生きていく子どもたちに関わるものとして、教師もまた「自己との和解が出来ているか」との問いかけがありました。

世界中が変化を求められている今、原点に返り、モンテッソーリ教師を選んだ者として、学ぶことを選んだことを再確認する貴重な時間になったことと思います。

より良い援助者を目指して

研修生　太田美奈（上智・第27期生）

コースを卒業し、子どもたちと共に時間を重ねる中で、日々変化する子どもの姿に「成長」という喜びを感じています。その一方でマリア・モンテッソーリが伝えたかった思いを担う事の責任を感じながら、自分の未熟さと向き合う日々です。様々な経験を重ねてきた今、「もう一度勉強をし直したい。」そんな思いを持っていた私が、研修生として得た一番の学びは教具の本質に触れた事です。日常生活の活動が全ての基礎であり、様々な活動へ繋がる事の意味を再確認いたしました。洗練された細やかな動きを身につけるために、より魅力的で正確な提示する事…これは非常に大きな課題です。小さな動きも意識され、整えられたものである先生方の提供を拝見できる機会は、本当に貴重な体験となりました。また学生の皆さんの熱意ある姿に刺激を受け、共に学び合う中で、様々な状況や時代の変化と共に新たな情報を掴んでいく事の大切さも実感しております。この研修を通して、さらに子どもたちのより良い援助が出来るように研鑽を積んでいきたいと思っています。ぜひたくさんの方々に研修制度を知っていただき、共に学び合えたらと思います。

研修生となって

研修生　虎島尚子（上智・第29期生）

養成コースで再び学べる制度ができたことを勤務園の園長より聞き、実務経験を積んだ今の目で改めて提示を見ることによる見直しや新たな気付きへの期待と、実習担当者として正しい指導をしたいという思いから全ての基礎でもある「日常生活の活動」の研修生となりました。

先生方の提示からは、集中から生じる凛とした空気を感じ、提示法だけではなく、無駄のない動きでありながらもしなやかな身のこなしに、日頃の自分の提示を振り返り、反省することができました。

アシスタントとしてお手伝いさせて頂いたことは、授業では得られない貴重な経験でした。

教具や用具への細かい配慮と、妥協しない姿勢、提示をより良いものにするために話し合い、熟考を重ねられる姿を度々目にし、動き一つひとつの意味、大切さ、探究心の必要性を再認識しました。また、先生方が、何冊も何度も関連書を読まれていることにも大変な刺激を受け、理論の重要性、モンテッソーリ教育の理念や理論の理解が実際の保育への導きへと繋がる考え方に気付けました。

研修生として学んだことを日頃の保育や実習生への指導に生かすと共に、今回の気づきを忘れることなく真の理解にも努めていきたいと思います。

図書紹介

理論　文化講師　江島正子

堀田和子著

『子どものサインに気がついて』

瀬谷出版、2020年、206頁

上智大学文学部教育学科心理学選考卒業後、上智モンテッソーリ教員養成コースで日本モンテッソーリ協会（学会）JAM公認ディプロマとAmerican Montessori Society小学部ディプロマを取得。「モンテッソーリすみれが丘子供の家」「モンテッソーリ原宿子供の家」園長。ホームページhttp://www.monte.tokyo:com/

著書として『ちょっと待ってお母さん』PHP出版（単著）、『モンテッソーリ教育への道』学苑社（共著）、『モンテッソーリ教育用語辞典』学苑社（共著）、『モンテッソーリ教育の実践』あすなろう書房（共著）、その他。

本書のはモンテッソーリ園長の子育てアドバイスを視点に以下のように網羅されています。

はじめに
第1章　親子ともイライラしない極意
第2章　第一子、第二子、ひとりっ子の育て方
第3章　子どもの能力を最高に引き出す方法
第4章　迷わないための子育ての哲学
おわりに

筆者は、上智コース、さらに上智コースを引き継いだNPO法人東京モンテッソーリ教育研究所 理事、同付属教員養成コースの主任講師として豊かな経験と幅広いモンテッソーリ教育の実践に秀でたモンテッソーリアンとして知られています。

江島正子著

『モンテッソーリ教育と子どもの幸せ』

サンパウロ、2020年、267頁

上智大学卒業後、ロンドン大学・ケルン大学留学　Dr.phil.　モンテッソーリ関連では3～6歳は東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンタ（1981）、0～3歳は横浜乳児アシスタントコース（2002）でディプロマ取得。関東学園大学教授を経て、現在群馬医療福祉大学大学院教授。長崎純心大学モンテッソーリコース、東京モンテッソーリ教育研究所付属教員養成コース、東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンタ、小百合学園広島モンテッソーリ教師養成コースにて講師。日本モンテッソーリ協会（学会）常任理事、編集委員長、東京支部長。

著書　『世界のモンテッソーリ教育』『楽しく育て子どもたち』（単著）『モンテッソーリの宗教教育』（単著））『モンテッソーリカルフォルニア講義』（共訳）、他多数。

本書は月刊誌「家庭の友」誌で2017年1月号から2020年5月号までの連載記事を加筆修正し、まとめて書籍化したもので、以下の通り。

推薦の言葉　前之園幸一郎
はじめに
1　日本におけるモンテッソーリ教育の導入
2　0～6歳児の教育。
3　インクルーシブ教育
4　モンテッソーリ・ケア
5　宗教教育
おわりに

このようにモンテッソーリ教育の理論、実践理論が幅広く紹介されています。

030949_TIMEvol13.indd 3-4　2020/10/19 13:02